

首都圏食肉卸売業者協同組合、牛肉処理実践研修を開催

首都圏食肉卸売業者協同組合(理事長 阿部昌史・(株)ミート・コンパニオン社長)はこのほど、群馬県佐波郡の公益社全国食肉学校で牛肉処理実践研修を開催した。この研修は(独)農畜産業振興機構の令和4年度畜産振興事業の一環。食肉流通経営体質強化促進事業のうち食肉流通機能強化推進事業を同組合が選択し、技術習得および経営力強化の推進で牛肉処理実践研修を企画し承認されたもの。



日程は3泊4日(13～16日)、組合員企業8社から若手社員18人が参加した。牛枝肉の大分割から、小割り、精肉、調理までを実践的に学ぶ内容で、牛肉1頭あたり4～5人が割り当てられ、全員がナイフや電ノコを使い研修を行った。なお、令和4年度事業は3月期として同じ内容で、もう一度開催し(3月7～10日)5社から14人の参加が予定されている。